

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
数学基礎 I				三品 勉	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	1 年次	講義	有 (名)・無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>数学の応用分野は極めて広く、少なくとも高校で学んだ基礎数学は大学生として知っておくべき基本知識である。社会に出てその必要性を感じ、その時点で新たに学び直すこともできる。しかし学修効率の面で大きな障害があり勧められない。</p> <p>本講義では経済学を事例として取り上げ、経済学を理解する上で身につけておくべき必要な数学を解説する。経済理論の範囲は多岐にわたるが、最もポピュラーな理論を数点選び、モデル構築の考え方、またその具体的な運用などについて説明する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>(1) 高等学校で習得した数学に関する知識を使いこなすことができる。</p> <p>(2) 大学生として知っておくべき新たな数学知識を理解することができる。</p> <p>(3) 大学での他の授業で必要な数学的概念を運用することができる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション				
第 2 回	市場メカニズム	1次関数			
第 3 回	同上				
第 4 回	金利	指数・対数			
第 5 回	同上				
第 6 回	貯蓄	数列			
第 7 回	同上				
第 8 回	まとめと第 1 回テスト				
第 9 回	利潤最大化	1変数の微分			
第 10 回	同上				
第 11 回	効用最大化	多変数の微分			
第 12 回	同上				
第 13 回	リスク	確率			
第 14 回	同上				
第 15 回	まとめと第 2 回テスト				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業で学んだテーマについて、関連の問題を必ず解いておくこと。問題はその都度指示する。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業内試験 (100%) 授業参加 (α %)	第1回・第2回テストの平均(授業内試験の70%) 小テスト(授業内試験の30%) 議論・質問・コメントによる授業への参加回数(追加点)
テキスト (Textbook)	【書名】 特になし 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	必要に応じて指示する
備考 (Other Information)	クラスは最大60人を限度とする。もし多数の受講希望者がいるときは、受講意欲を示すレポートを提出してもらうことがある。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	Eメール